

案内

- 礼拝堂は、神に礼拝を捧げるための神聖な場所です。礼拝堂内では私語を慎み、賛美以外は静粛を保つよう心がけましょう。
- 飲食物の持ち込みはできません。礼拝堂内では帽子をおとりください。
- 礼拝堂内でのスマートフォンの使用は週報の参照のみとし、それ以外はマナーモードにしてください。
- 礼拝を録画・録音することをご遠慮ください。

後期 チャペル・ウィークのお知らせ

各方面で活躍されている著名なクリスチャンの方をお招きする特別礼拝週間です。様々な分野で活躍されている方のお話を伺い、ともに礼拝をまもる貴重な機会ですので、ぜひご出席ください。

チャペル・ウィークは2時限の授業開始を通常より5分遅くして11時5分からとなります。

礼拝後懇談の時間を設けます

チャペル・ウィークでは、礼拝終了後に30分間奨励者と懇談する時間を設けています。ご希望の方は礼拝後にロビーにお残りください。

ミニコンサートについて

以下の日程で、チャペル・ウィーク夕礼拝に続き、ルア・ワーシップ（ゴスペル賛美ユニット）のミニコンサートを開催します。

日時 10月15日(火) 19時～19時30分
場所 ガウチャー記念礼拝堂（青山キャンパス）

青山学院大学礼拝週報

2024. 10. 14.

神の国節第21週

No.22

チャペル・ウィーク

キリスト教のシンボル [19]

「使徒ヨハネ」

相模原キャンパスのガーデン内に流れる小川のほとりに厚木キャンパスから移設された「使徒ヨハネ像」(元中等部教諭小坂圭二氏の作品)が建っています。

使徒ヨハネは、ゼベダイの息子であり、漁師であり、兄のヤコブおよびペトロと共にイエスの十二弟子の中核をなした人物です。ヨハネ福音書はこの弟子を、イエスの「愛する弟子」と称しています。また、イエスは十字架の上から母マリアをこの弟子に託したと記しています。

ヨハネ(John)は、よくある男子の名で、聖書にまつわるヨハネも、このほかに、洗礼者ヨハネ、福音書記者ヨハネ、黙示録の著者ヨハネ、パウロとバルナバの同労者ヨハネ・マルコなど複数存在しています。



今年度の主題聖句

それゆえ、信仰と、希望と、愛、この三つは、いつまでも残ります。

その中で最も大いなるものは、愛です。

(コリントの信徒への手紙一 第13章13節)

今週の聖句

「神はキリストを通して私たちをご自分と和解させ、また、和解の務めを私たちに授けてくださいました。」(コリントの信徒への手紙 二 第5章18節)

解説: 一般的には、揉め事をうやむやにしたり、忘れたり、なかったことにせずに、事実を認め、謝罪し、関係修復に励む中で、お互いに分かり合い、受け入れ合い、和解に至ります。ところが、こうしたプロセス抜きに、人間が神に背き、神との敵対関係に陥っていたにもかかわらず、神はキリストの死によって、人間との関係を修復し、和解させてくださいました。今度は私たちが、人間同士の関係修復のために和解の務めに励む番です。

青山キャンパス／ガウチャー記念礼拝堂 夕礼拝／ガウチャー記念礼拝堂

<チャペル・ウィーク> (月～金・10時25分～11時05分)

(火・18時30分～19時)

10月14日(月)

司式 八木 隆之
奨励 竹花 信恵
(光の子どもの家 理事)

前奏 奏楽 坂戸 真美
招詞
讃美歌 (灰色) 504
聖書 エフェソ 5:8,9
(新350頁)
奨励 「光の子として歩む」
祈禱
頌栄 (灰色) 25
祝禱
後奏

10月15日(火)

司式 大宮 謙
説教 大藪 順子
(フォトジャーナリスト)

前奏 奏楽 身崎真理子
招詞
讃美歌 (灰色) 464 (1,2)
聖書 エレミヤ 33:3
(旧1224頁)
奨励 「あなたの知らない
大いなること」
祈禱
頌栄 (灰色) 26
祝禱
後奏

夕礼拝

10月15日(火)

コンテンポラリー礼拝

聖書 申命記 31:6
(旧315頁)

メッセージ

「主の約束」

ルア・ワーシップ
(賛美ユニット)

ワーシップ・ディレクター
塩谷 達也

10月16日(水)

司式 島田 由紀
奨励 梅津 光弘
(梅津総合研究所(株)代表取締役)

前奏 奏楽 松浦 光子
招詞
讃美歌 聖歌 338
聖書 コヘレト 12:1
(旧1033頁)
奨励 「汝の若き日に、
汝のつくり主を覚えよ」
祈禱
頌栄 (茶色) 543
祝禱
後奏

10月17日(木)

司式 塩谷 直也
奨励 鈴木 まどか
(本郷台キリスト教会宣教師)

前奏 奏楽 松浦 光子
招詞
讃美歌 (灰色) 522
聖書 創世記 1:31
(旧2頁)
奨励 「暗闇から光へ」
祈禱
頌栄 (灰色) 25
祝禱
後奏

10月18日(金)

司式 藤原 淳賀
奨励 小林 亮
(玉川大学教授)

前奏 奏楽 徳田 佑子
招詞
讃美歌 (茶色) 85
聖書 ルカ 16:9～13
(新138頁)
奨励 「『人の心の中に
平和の砦をきずく』
— ユネスコと聖書」
祈禱
頌栄 (茶色) 540
祝禱
後奏

相模原キャンパス／ウェスレー・チャペル

<チャペル・ウィーク> (月～金・10時25分～11時05分)

10月14日(月)

司式 大宮 謙
奨励 青木 宗達
(馬蹄舎プロフェッショナル
レザー代表)

前奏 奏楽 越川伊豆美
招詞
讃美歌 (茶色) 90
聖書 Iペトロ 4:10
(新423頁)
奨励 「あなただけの
特別なもの。」
祈禱
頌栄 (茶色) 544
祝禱
後奏

10月15日(火)

司式 福嶋 裕子
奨励 荒川 朋子
(アジア学院校長)

前奏 奏楽 徳田 佑子
招詞
讃美歌 (茶色) 420
聖書 創世記 2:15
ヨハネ 14:27
(旧2頁、新193頁)
奨励 「『土からの平和』
～アジア学院の
平和構築アプローチ」
祈禱
頌栄 (茶色) 541
祝禱
後奏

10月16日(水)

司会 REEDY, David W.
奨励 波多野 愛
(宇宙航空研究開発機構 有人宇宙
技術センター 主任研究開発員)

前奏 奏楽 身崎真理子
招詞
讃美歌 Blessed Assurance
聖書 エレミヤ 29:11
(旧1215頁)
奨励 「操縦席には
神がおられる」
祈禱
頌栄 (灰色) 24
祝禱
後奏

10月17日(木)

司式 藤原 淳賀
奨励 梅澤由美子
(谷間のゆり
フラダンススタジオ主宰)

前奏 奏楽 鷺 晶子
招詞
讃美歌 (茶色) II161
聖書 詩編 141:2
(旧964頁)
奨励 「踊りをもって
神をほめたたえる」
祈禱
頌栄 (茶色) 544
祝禱
後奏

10月18日(金)

司式 福嶋 裕子
奨励 市川 一宏
(ルーテル学院大学名誉教授)

前奏 奏楽 鷺 晶子
招詞
讃美歌 (灰色) 493
聖書 マタイ 25:40
(新50頁)
奨励 「最も小さい者」
祈禱
頌栄 (灰色) 26
祝禱
後奏

聖書(旧): 旧約聖書
聖書(新): 新約聖書

讃美歌(灰色): 讃美歌21

讃美歌(茶色): 讃美歌・讃美歌第二編

奨励者紹介

<青山キャンパス>

10月14日 竹花 信恵 (たけはな のぶえ)

明治学院大学社会学部社会福祉学科卒業。児童養護施設で働きはじめ3年後受洗。1985年 児童養護施設光の子どもの家の創立以来保育士として関わる。2014年に施設長就任、2024年定年退職。現在は光の子どもの家理事。日本基督教団東大宮教会会員。

【学生への一言メッセージ】

子どもたちのことを祈っててください。

10月15日 大藪 順子 (おおやぶ のぶこ)

フォトジャーナリスト。米国コロンビア大学フォトジャーナリズム科卒業。米国中西部の新聞社で専属フォトクラフアーを務めフリーに。米報道写真協会から多数受賞。2008年やよりジャーナリスト賞、2011年シカゴの母校より卒業生賞受賞。著書『STAND-立ち上がる選択』(2007)、共著『マスコミセクハラ白書』(2020)、写真集『横浜(KOKO)』(2021)「その後佇んで、見えたもの」(2024)出版。社会的マイノリティと呼ばれる人たちが撮る側に立つプロジェクトを展開し、国内外で写真展と講演会を行う。

【学生への一言メッセージ】

良いことも悪いことも今経験している一つひとつに神の計画があります。それが起こらなければあなたにしか言えないこと、できないことがあるのですから。

10月16日 梅津 光弘 (うめづ みつひろ)

梅津総合研究所(株)代表取締役。慶應義塾大学文学部哲学科卒業後、渡米。Trinity神学校、Loyola University of Chicago大学院博士課程修了(Ph.D.)。University of Illinois, Loyola University of Chicago, Northwestern University等で教鞭をとり、帰国。慶應義塾大学商学部教授、南山大学ビジネススクール講師等を歴任し、2023年3月定年退官。現在は一橋大学大学院経営管理研究科、京都大学経営大学院、学習院大学等で教鞭をとる。Tokyo Union Church 会員。

【学生への一言メッセージ】

若い時には宗教などに興味がないかもしれませんが、頭がシャープなうちに人生の究極目的である神様と真剣に向き合ってみることは、その後の人生を過ごす上でとても重要だと思います。

10月17日 鈴木 まどか (すずき まどか)

本郷台キリスト教会宣教師。陸上競技長距離の元ジュニア日本代表選手。摂食障害を患い現役を引退し、韓国に渡り、イエス・キリストを信じるようになる。現在はアスリートチャーチという働きで、スポーツを通してイエス・キリストの素晴らしさを伝えるため、全国各地を飛び回っている。天理大学国際文化学部英米学科卒。国民体育大会優勝。全国都道府県対抗女子駅伝区間賞(大会MVP)。アジアジュニア選手権優勝。渡韓し、トライアスロン韓国代表として北朝鮮大会に出場。

【学生への一言メッセージ】

神様にしか満たすことのできない皆さんの中にある空洞を、神様よって満たしていただくことを願います。

10月18日 小林 亮 (こばやし まこと)

玉川大学教育学部教授。慶應義塾大学文学部哲学科、慶應義塾大学社会学研究科修士、コンスタンツ大学社会学部博士。コンスタンツ大学社会学部助手、京都光華女子大学人間関係学部助教授、玉川大学教育学部准教授を経て現在は玉川大学教育学部教授。著書に『ユネスコスクール：地球市民教育の理念と実践』(明石書店)、『世界を変えるSDGs』(あかね書房)、『君たちはどう乗り越える?世界の対立に挑戦!』1~3巻(かがわ出版)などがある。カトリック山手教会会員。

【学生への一言メッセージ】

聖書のメッセージは私たち人間があらゆる人種、民族、性別、言語、宗教などの違いを超えて一つの種であり運命共同体であることを明確に示してくれています。みなさんは前途有望のグローバル人材として、今日お話しするユネスコの取り組みも参考にしながら、ぜひ人類共同体の意識をもってさまざまな活動に取り組んで頂ければと期待しています。

<夕礼拝>

10月15日 ルア・ワーシップ (Ruah Worship)

erikagrace, 峯 真理杏, Paul M.

ルア・ワーシップは4人姉弟の賛美ユニット。日本で生まれ、インターナショナルな環境で育つ。国際的な影響を受けてきた4人はアカペラのアレンジ曲を始めとして、オリジナル賛美にも力を注いでいる。クリスチャン・ライフ・センター会員。

【学生への一言メッセージ】

お会いできることを楽しみにしています!

奨励者紹介

<相模原キャンパス>

10月14日 青木 宗達 (あおき そうたつ)

馬蹄舎プロフェッショナルレザー代表。株式会社SRメディアネットワーク代表取締役。貧しい幼少期、理不尽な世の中に怒りと苦しみを感じながら反抗し続けた高校中途強制退学の青年期。「この世は金がすべて」と自分に言い聞かせ、他人には言えない稼業を経て莫大な財を成すが、それも全て失う・・・2012年オーダーメイド革製品専門店「馬蹄舎プロフェッショナルレザー」設立。2024年「クリスチャンレザー(日本聖書協会協賛)」設立。

日本基督教団銀座教会会員。

【学生への一言メッセージ】

「自分らしさ」とは何でしょうか? 「自分の生きる意味」とは何でしょうか?

10月15日 荒川 朋子 (あらかわ ともこ)

アジア学院アジア農村指導者養成専門学校校長。群馬県高崎市出身。国際基督教大学教養学部卒。ミシガン州立大学社会学部修士課程修了。1995年よりアジア学院アジア農村指導者養成専門学校職員。2015年4月より同校長。

日本基督教団西那須野教会会員。

【学生への一言メッセージ】

いのちを育む土を愛し、神様が創ったあらゆるものと共に生きようとすることで平和を築こうとする「土からの平和」は、食べていのちを支えられている私たち、すべての人間に関係しています。皆さんがどんな風に「土からの平和」とつながっているのか、考えるきっかけになったらと思います。

10月16日 波多野 愛 (はたの あい)

宇宙航空研究開発機構(JAXA) 有人宇宙技術センター 主任研究開発員。東京大学工学部機械工学科卒業、シドニー大学大学院(IT専攻)。遠赤外線カメラを国際宇宙ステーション(ISS)へ短期間で打上げる。ISSの日本モジュールにセキュリティを導入する。NASA/ESA/CSA他が参加する国際会議で、日本の状況を発表する。福音自由教会 教会員。

【学生への一言メッセージ】

全ての人が神様から深く愛され、導かれていると信じています。楽しみつつ、全力で皆さんのオリジナルの人生を開花させてください。

10月17日 梅澤 由美子 (うめざわ ゆみこ)

谷間のゆりフラダンススタジオ 主宰、振付師。秋草保育専門学校卒。スタジオユニオン(アニメ制作会社)、新治村立にいはる幼稚園 勤務。World Invitational Hula Festival 出場、これまでに200曲以上を振り付け、現在も活動中。

単立久遠キリスト教会猿ヶ京キリスト教会会員。

【学生への一言メッセージ】

人にはそれぞれ賜物(神様からのギフト)が与えられています。それを見つけて歩んでください。

10月18日 市川 一宏 (いちかわ かずひろ)

ルーテル学院大学名誉教授。早稲田大学法学部卒業後、日本社会事業学校研究科、東洋大学大学院社会学研究科社会福祉専攻博士前期課程・後期課程、ロンドン大学ロンドン・スクール オブ エコノミクス(LSE) 特別研究員2002~2004年等、社会福祉の学びを深める。きっかけは、大学1年生の時に阿佐ヶ谷教会主催の知的障害者施設に友人の代わりに行ったボランティア体験で、以降50年以上、共に生きる社会づくりに取り組んでいる。現在、ルーテル学院大学名誉教授として、国、都府県、市町村の計画作成等に取り組んでいる。著書は、2014年6月『「おめでとう」で始まり「ありがとう」で終わる人生 福祉とキリスト教』教文館等。

日本基督教団阿佐ヶ谷教会会員。

【学生への一言メッセージ】

2011年3月11日の東日本大震災における約10年間に及ぶ被災地支援の経験や、コロナによって広がった孤立、貧困等に直面して、目指すは以下の3点。

第1に自らの働きを問い直すこと、第2に地域・地域ケアのあるべき姿を描くこと、第3に協働した取り組みを目指すこと。